

1 教育目標	①すぐれた知性の育成（知育） ②ゆたかな心の育成（徳育） ③たくましい体の育成（体育）
2 学校経営方針	①教職員の心身の健康を保持し、働きがいのある風通しのよい職場づくりを進める。② 安心・安全な教育環境を基盤として、社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成を図る。③生徒・保護者・地域の期待に応え、信頼される学校づくりを進める。

重点取組事項	具体的方策	評価項目	自己評価	平成30年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
1 保健・安全及び教育環境の整備を図る	①生徒・職員の健康相談活動の充実に努める ②危険回避能力の育成 ③安全管理日の設定（毎月1日） ④教室内外の美化及び清掃活動の徹底 ⑤美化意識の高揚及び地域連携の促進	(1) 生徒(職員)は健康的で、健全な学校生活を送っている	A	・生徒送迎による車両構内乗り入れをテニスコート側の駐車場に整備することで安全性の向上が見られるが、今後も地域・保護者の協力が必要である。	A	職人を目指す専門高校の魅力は校内美化にあると思いますので、生徒たちの清掃活動の充実に期待したい。
		(2) 教育目標に沿って校内の施設・環境に工夫がみられる	A			
2 学習指導の工夫・改善・充実に努め学力の向上	①生徒を一人ひとりを視座にした基礎的・基本的な知識技能習得を図る ②生徒が主体的に学習に取り組むための授業工夫とわかる授業の充実に努める ③各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図る ④家庭と連携を強化し学習習慣の確立を図る ⑤地域課題に関する取組を通じて地域社会の理解と貢献の意識を深める	(3) 生徒を一人ひとりを視座にした基礎的・基本的知識な技能習得を図っている（補習・講座等）	A	・学業面における成績優秀者数の推移及び単位未修得者数の推移から良好な傾向が見られるが、生徒一人一人の学習課題及びニーズの把握に努める必要がある。 ・資格取得等の専門教育指導の充実にについては高い評価平均(3.5)であり、今後も継続した取組を期待したい。	A	・休学者の就学継続の支援に取り組んでいただきたい。 ・資格取得の指導については評価が高く、今後も継続して取り組んで頂きたい。
		(4) 生徒が主体的に学習に取り組むための授業工夫とわかる授業の充実に努めている（主体的・対話的・深い学びの実践）	B			
		(5) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	A			
3 進路指導の充実強化を図る	①望ましい職業観・勤労観の育成とキ ②各学年に応じた進路指導の強化 ③インターンシップの充実とコミュニケーション能力の育成 ④進路情報の収集と関係機関との連携強化	(6) 進路情報の収集及び進路相談・個別指導の強化がなされている	A	・保護者からPTA総会・三者面談時に進学に係る費用及び奨学金等の進路相談があった。今後も適宜、計画的に情報発信に努める必要がある。	B	進路未定のまま卒業した生徒（15人）の支援にも取り組んでいただき、進路決定率と同様に、定着率も向上させてもらいたい。
		(7) インターンシップの充実と正しい職業観・勤労観の育成に努めている	A			
		(8) 学校は生徒・保護者がいつでも進路相談にいける雰囲気である	B			
4 生徒指導の充実強化を図る	①基本的生活習慣の確立 ②規範意識の醸成 ③交通安全教育の徹底と意識の高揚	(9) 全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立に努めている	A	・規範意識に関して生徒と保護者・教職員の評価にズレが生じている。挨拶や相手を思いやる心の育成等、人権教育の充実に努める必要がある。 ・H30年度交通事故が2件発生し、交通安全指導の更なる徹底を図る必要がある。	B	高校生の自転車・バイク事故の未然防止については今後も引き続き警察などの関係機関と連携して取り組んで頂きたい。
		(10) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B			
		(11) 生徒たちの行動面の改善や交通安全指導が行きとどいて	B			

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

重点取組事項	具体的方策	評価項目	自己評価	平成30年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
5 豊かな心と体を育む教育活動の推進を図る	①凡事徹底を推進し、道徳的な心情や判断力、実践意欲と態度などを育成する ②生徒支援体制を充実させ、個性を尊重し、個に応じた教育を推進する ③人権の日（毎月10日）を設定し、生徒や教職員の人権意識を高める ④部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努める	(12) 学校は体罰やいじめ、暴力のない学校づくりに取り組んでいる	B	・H30年度いじめ案件は12件で、早期発見、早期対応により問題解消に近づけた。今後は未然防止の取組充実を図る必要がある。 ・保護者の家庭状況及び経済的事情により、就学困難な生徒が存在し、関係機関と連携した支援が必要である。	B	・いじめ防止対策や早期対応については、大きな取組であったと評価する。未然防止にむけて全職員で意識してとりくんで頂きたい。 ・SNS等による新たな問題がないか対策を考える必要がある。
		(13) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実に努めている	A			
		(14) 部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努めている	B			
6 特別活動の充実強化を図る	①ホームルーム活動、生徒会活動の充実 ②学校行事を通して帰属意識を深め、公共の精神を養い、社会性を育てる。	(15) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	・朝のあいさつ運動など生徒の主體的な活動により学校行事等の内容充実に期待したい。	B	遠足が次年度、実現できることは近隣の小・中学校にもよいアピールになると思う。是非、内容充実させ生徒の自主性・協調性の育成につなげて欲しい。
		(16) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	B			
7 学校広報活動の充実を図る	①中学校への広報活動を充実させ、入学者定員確保に努める ②学校ホームページや校門前掲示板等を活用した学校広報活動の充実を図る	(17) 中学校への広報活動を充実させている	A	HPにて入試関連資料や生徒活躍等の情報を発信できた。次年度も適宜、より有効的な情報発信に努める必要がある。	B	名護市の広報や新聞等のメディアで名護商工の活躍を期待したい。
		(18) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	B			
8 家庭・地域社会との連携の強化を図る	①PTA活動の活性化を図る ②学校評議員と家庭教育支援会議の充実を図る	(19) PTA評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や夜間巡視へ積極的に参加している。	B	・PTA総会及び評議員会の参加率向上に努め、保護者の意向を学校運営に反映する必要がある。	A	奨学金講座や進路講話などの充実により、保護者の学校への関心を高め、生徒の基本的な生活習慣の確立や進路実現に期待したい。
		(20) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	A			

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

<お願い>

※ 学校関係者評価欄の A, B, C, D に○付け下さい。

※ 次年度にむけての御要望等欄へ意見・要望等の記入をお願いします。